



住北通信

第11号 発行日 R元. 8. 28

発行者 校長 松下 佳司

大東市立住道北小学校

TEL 872-7788 FAX 872-7789

さあ！二学期

大きな事件・事故の報告もなく、無事2学期のスタートを切ることができました。2学期も教職員一同、子どもたちのために、誠心誠意努力いたしますので、引き続き、本校の教育活動に、ご理解とご協力、建設的なご意見をよろしくお願いいたします。

さて、**始業式**では、「**久しぶり**」をキーワードに、この夏休みに再会した卒業生とのエピソードについてお話ししました。

久しぶりに登校し、久しぶりに友だちと再会した子どもたちとは、すぐさま「久しぶり」という言葉を共有することができました。(辞書で引くと、「久しぶり」とは、「前にそのことを経験してから、再び同じことになるまでに長い日数のあったこと」とあります。)

私ごとのエピソードにもかかわらず、子どもたちは、丁寧に話を聞いてくれました。

まず、**一つ目**の久しぶりは、**25年**ぶりの再会です。「あの子はどうしているのかな。どこかで逢えないかな。」と、気になっている教諭時代の教え子がいました。

最近なぜか、その子の顔が浮かぶ、そんな不思議を感じながら夏休みに行こうと決めていた京都のあるお店に入るや否や、「いらっしゃいませ。(間) **松下先生**ですね。」と、一人の店員さんに声をかけられました。あまりの突然に、私はキョトンとしてしていると、「〇〇です。」と、その笑顔を見ると、何と、気になっていた教え子ではありませんか。お店の切り盛りをしながらも小学校時代を懐かしみ、思い出話に花を咲かせてくれました。まるでドラマのようだと、奇跡的な再会に心が震えました。

二つ目の久しぶりは、**6年**ぶりの再会です。再会と言っても、少し離れたところからの**応援**です。この夏の**全国高等学校野球選手権大会**で優勝した**履正社高校**の主力として、前任校での卒業生が、出場していました。テレビを通しての応援では物足りず、実際に甲子園球場まで応援に行きました。その試合、2安打、4打点の大活躍で、拍手喝采を浴びている姿に鳥肌が立ちました。一つのこと

に打ち込んで、努力に努力を重ね、自分でつかんだ夢舞台、誇らしく思いました。この二人の卒業生に共通している良いところは、素直で真面目に、人一倍努力するところです。人より優れているところがあっても、決して偉そうにしない優しさがありました。でも、辛抱強く、最後まで頑張り抜く、芯の強さがありました。

こうした素敵な**出会い**があるからこそ、「久しぶりやなあ。」という、懐かしい感情が沸き起こり、当時の思い出がよみがえってきます。だからこそ、自分の周りにいる友達や先生方を大切にすることが**素敵な「久しぶり」を引き寄せる**のではないかと、子どもたちに伝えました。



2学期も、友だちと認め合い、助け合い、教え合い、高め合いながら、新しい目標を見つけて、ともに取り組む2学期、魅力ある自分に気づく2学期にしていってほしいと願っています。

教職員人事について

本校の教職員人事について、報告をさせていただきます。

升田智也先生が、体調不良により令和2年3月31日までお休みを延長することになりました。このことに伴い、引き続き、小原昌之先生が、支援学級担任として子どもたちの指導・支援にあたり、欠員となる理科専科指導には、1学期途中より着任している朝田仁章先生が担当いたします。

夏休み作品展

納得のいくまで手向ひまをかけた作品ばかり！一部を紹介します。



※作品展は、8月29日（木）まで、体育館にて開催しております。

学ぶ力の基礎として

学習規律としての「住北スタディ∞」、生活規律としての「徹底4項目」の1学期末定着度（A「よくできた」+B「できた」の割合）について報告します。これらについては、全教員が一致して指導する基礎・基本事項として、あたり前に意識し、身につけようと努力している子を、丁寧に見取りながら、根気強く指導・評価しています。

学習規律の定着をめざして ※（ ）内の数値は、昨年度3学期末の定着率との比較

住北スタディ∞(イト)		※学期末にアンケート実施	定着率〔A+B〕
①	話す人に体を向けて最後までしっかりと聞くことができる。		86% (-6)
②	授業が始まるまでに学習の準備ができる。		82% (-6)
③	学習に必要な用具を毎日そろえることができる。		94% (±0)
④	正しい姿勢で学習することができる。		75% (-6)
⑤	文字をていねいに書くことができる。		91% (+3)
⑥	指先までまっすぐ伸ばして手をあげることができる。		83% (-7)
⑦	席をはなれるときは、いすを入れることができる。		82% (-7)
⑧	チャイムが鳴り終わるまでに着席することができる。		95% (+2)

生活規律の定着をめざして

徹底4項目		※学期末にアンケート実施	定着率〔A+B〕
①	どんな場でも、自分から進んであいさつをする。		90% (-6)
②	下足箱、トイレのスリッパなど、はき物を常に整える。		93% (-3)
③	廊下は静かに、右側を歩く。		73% (-18)
④	ハンカチ・ティッシュ・名札・黄帽は、常に着用・携帯しておく。 (名札は学校で保管し、学校内で着ける。)		93% (-3)

学力の基本「聞く力」

学ぶ力のある子、伸びる子は、例外なく「よく聞く」ことのできる子です。先生や友だちの話す表情に注目し、真剣に誠実に聞く子は、確実に学力を伸ばします。授業中、盛んに発言をしたり、討論をしたりする子が必ずしも学力を高めている訳ではありません。基本として、「聞く力」のある子が学力を高めていくのです。「住北スタディ∞」にある「話す人に体を向けて最後までしっかりと聞くことができる。」という項目は、あくまでも聞く姿勢、心構えのようなもので、真の「聞く力」は、授業づくりの過程で指導するものと考えています。

8・9月の生活目標 : **元気なあいさつを進んでしよう。**